

委 25-1-1

【議事】

宇宙開発に関する重要な研究開発の評価
水循環変動観測衛星（GCOM-W）プロジェクトの
事前評価結果

推進 3-1-3（表題から（案）の取れたもの）
＋
推進 3-1-2（小委員会の報告書）
変更点は見当たらない。

委 25-1-2

宇宙開発に関する重要な研究開発の評価
第 25 号科学衛星（ASTRO-G）プロジェクトの
事前評価結果

推進 3-2（表紙から（案）の取れたもの）
＋
推進 2-2-2（JAXA 説明資料）
変更点は見当たらない。

(1) 宇宙開発に関する重要な研究開発の評価結果について

青江 推進部会長が資料 25-1-1（GCOM-W）と資料 25-1-2（ASTRO-G）の事前評価結果を、資料を用いずに説明したあと、下記のようなやり取りがあった。

井口：「開発研究」から「開発」へのフェーズ移行に際しては評価を厳密にやってきたが、「研究」から「開発研究」の段階では様々であった。それが、今回は両方とも厳密に評価できたと思う。お金が出ないのでとにかく「開発」フェーズにし、そこから開発に時間が掛かったという前例がある。JAXA で言うところのフロントローディングに相当するが、このやり方で「開発」フェーズの期間短縮が図れよう。

青江：「科学衛星のバスの共通化に考慮」と云うのは書き過ぎたかと思っている。厳密に追求するのは如何かと思った。

井口：これは「開発研究」の段階であるから、やってみて拙ければ直せば良い。ミッション機器がチャレンジングならバスは共通でもかまわないのではないか。

それでは 2 件とも承認ということで。